



保坂区政の与党、くらし、福祉優先の区政前進へ

2024年9月

こんにちは **川上こういち**です
日本共産党

連絡先：日本共産党世田谷区議団 世田谷区世田谷4-21-27 ☎ 5432-2791

公共施設使用料の改定は据え置き含めた検討を

世田谷区は、物価高騰等を背景とした管理運営経費の増加に伴い、公共施設の使用料等の改定（値上げ）を検討しています。

そもそも公共施設の維持管理は、地方自治法に定められた「住民の福祉の増進」を目的に掲げる自治体が税金によってまかなうべきものであり、無料であるべきです。

使用料等の改定にあたり、子ども・子育て世帯、高齢者・障害者や、区民生活などに配慮するとしていますが、値上げによって区民の学び、集う活動を阻害してはなりません。

9月の第3回定例区議会の代表質問で日本共産党は、地区会館や区民集会所について、使用料の値上げ据え置きなども含めて検討する事、また、けやきネット利用者をはじめ、施設利用団体に対し、考え方を知らせ、意見を聞くことを求めました。

区は、「改定額の決定にあたっては、11月に区民意見募集を予定しており、施設を利用する方、しない方、双方から広くご意見を伺ってまいります。」と答弁しました。

区民生活が厳しい中で、公共施設使用料の値上げはどうか、積極的に区に意見をあげていきましょう。

奥沢図書館の早期再開をはかる事を求めました



奥沢駅のそば、図書館、区民センターが入っている奥沢センタービルの耐震不足により、現在、奥沢区民センターは2ヶ所に分散仮移転をして、奥沢図書館は旧奥沢まちづくりセンターに仮事務所を設置しています。受付カウンターと小規模な新聞・雑誌の閲覧スペースにすぎず、実際に本を見ながら探すことのできる開架図書館にはなっていません。

私、川上こういち地域住民の方から、「知と学びと文化の情報拠点」という世田谷区の位置づけにふさわしい図書館機能が失われている。地域に開かれた知的な居場所である奥沢図書館の早期再開館を求める声を伺いました。ある方は「図書館を知らずに成長する子どもたちがでてきてしまう。子どももお年寄りも安心できる居場所となる図書館は必要だ。」と話してくださいました。図書館の再開を求める地域住民の声は切実です。9月の区議会の一般質問で、早期に奥沢センタービル内での再開をはかること、再開が困難であるなら、区民の利便性や要望を踏まえ、奥沢地域に図書館を設置する検討を行う事を求めました。

区は「今後、奥沢図書館は、センタービル耐震化後に戻ることを前提としており、引き続き、玉川総合支所と連携しながら、耐震工事への取組みを注視しつつ、図書館サービスの向上を図るよう取り組んでまいります。」答えました。

奥沢地域での開架図書館再開へ、住民の意見を伺いながら、求めていきます。

2024年度補正予算（一般会計第2次）

高齢者・障害者施設等への経営支援や、保育待機児童にかかる緊急対策のとりくみ、高齢者新型コロナウイルスワクチン接種への対応などの補正予算（案）が第3回区議会定例会で提案されました。

エコ住宅補助金

申請件数の増
1669件→2332件

太陽光発電
ポータブル電池
窓の断熱など

約6330万円

人材不足に直面する高齢者、障害者施設事業継続給付金

国による報酬改定の不足分を補い、区民に必要な福祉サービスの事業継続を支えるため

高齢者施設等 約7億3100万円
障害者施設等 約1億4400万円



保育待機児童にかかる緊急対策としての新規保育施設整備

私立認可保育所分園3施設

約5億4760万円



がん患者へのアピアランス支援

脱毛、手術の傷あとなど、治療によって起こる外見の変化に対して、患者の悩みに対処し、支援することを「アピアランスケア」と呼びます。

ウィッグ、胸部補正具等の購入費用助成の増
申請件数400件→643件

約2450万円

生活保護世帯から進学する若者のための給付型奨学金の増

申請件数60件→75件

約1020万円



能登地震で申請件数が急増

木造住宅等診断士派遣

件数の増 140件→280件

木造住宅等住宅訪問相談

件数の増 377件→728件

約5320万円

高齢者新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増

<自己負担額> 3500円

約7億3400万円